

DeploymentManager Ver5.1 仮想化ソフトウェア対応状況

管理対象コンピュータの各仮想化ソフトウェア環境上の対応状況について
記載しています。

2011/4/28

更新履歴

2011/4/28 VMware仮想マシン(ゲスト)の対応状況表を更新

VMware仮想マシン(ゲスト)に対する注意事項として、以下を追加しました。

- 仮想マシンを作成する際のBIOSの設定について追記

2010/9/24 VMware仮想マシン(ゲスト)に対する注意事項として、以下を追加しました。

- 「Rawデバイスのマッピング」を指定して作成した仮想マシンには対応していない旨を追記
- VMware ESX4.1/ESXi4.1の対応デバイス確認方法について追記

2010/7/30 以下を追加しました。

- VMware ESX 4.1/ESXi 4.1仮想マシン(ゲスト)/仮想基盤(ホスト)
- Citrix XenServer Enterprise Edition 5.6仮想基盤(ホスト)

2010/4/16 DPM5.1(REVISION:004)にあわせて、以下を追加しました。

- ESXi 4.0仮想マシン(ゲスト)/仮想基盤(ホスト)
- Citrix XenServer Enterprise Edition 5.0/5.5 仮想基盤(ホスト)
- Hyper-V 2.0 仮想マシン(ゲスト)/仮想基盤(ホスト)

仮想マシン(ゲスト)の対応状況(DPM5.1)

管理対象コンピュータの仮想マシン(ゲスト)上での対応状況についてです。

○=対応済み。△=一部機能に対応済み。□=対応予定あり。(対応時期検討中。一部機能への対応予定も含む。) ×=未対応・対応予定なし。

仮想化ソフトウェア	VMware								Citrix XenServer		Hyper-V	
バージョン	ESX Server 2.5.1		ESX Server 3.01/3.02/3.5 ESXi 3.5		ESX 4.0/4.1※11		ESXi 4.0※11/4.1※11		Enterprise Edition 4.0/4.1	Enterprise Edition 5.0/5.5/5.6	1.0 (WindowsServer2008)	2.0 (WindowsServer 2008R2)※11
管理対象コンピュータのOS ※1	Windows	Linux	Windows	Linux	Windows	Linux	Windows	Linux	Windows	Linux	Windows	Linux
機能内容	対応状況											
バックアップ・リストア	○※2	○※2	○※2,※4	○※2,※5	○※2,※13	○※2,※13	○※2,※13	○※2,※13	○※3,※12,※14	○※3,※12,※14	○※3,※12,※14	○※3,※12,※14
ディスク複製OSインストール	○※2	○※2	○※2,※4	△※2,※5,※6	○※2,※13	△※2,※6,※13	○※2,※13	△※2,※6,※13	△※3,※7,※12,※14	○※3,※12,※14	○※3,※12,※14	○※3,※12,※14
OSクリアインストール	○※2	×	○※2,※4	×	○※2,	×	○※2	×	×	×	○※3,※12	○※3,※12
アプリケーションのリモートインストール	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
パッチ/サービスパック配信	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電源ON ※8	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
電源OFF ※9	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
シャットダウン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電源ON/OFFの状態確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
OS/パッチなどの情報取得	○	○※10	○	○※10	○	○※10	○	○※10	○※10	○※10	○※10	○※3,※10

※1 仮想マシンとしてサポートするOS は、以下の両方の条件を満たしているOS となります。

- ・DPM の管理対象コンピュータとしてサポートしているOS
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/> - 「動作環境」 - 「Ver5.1～5.2の動作環境」
- ・仮想化ソフトウェアがゲストOSとしてサポートしているOS
 - ◆ESX Server : <http://www.nec.co.jp/pfsoft/vmware/> - 「動作環境」
 - ◆Citrix XenServer : <http://www.nec.co.jp/pfsoft/xenserver/> - 「動作環境」
 - ◆Hyper-V : <http://support.express.nec.co.jp/w2008/hyper-v.html>

※2 バックアップ/リストア、ディスク複製インストール、OSクリアインストールを行う際には、以下について注意してください。

- ・一部の仮想デバイスには対応ていません。
ダウンロードページからWebSAM DeploymentManager Ver5.1 ユーザーズガイド(導入編)をダウンロードし「9. VMware ESX/ESXiサポートについて」を参照してください。
(上記の章以外は使用中のREVISIONにあつたユーザーズガイドを参照してください。)
- ・VMware ESX4.1/ESXi4.1の仮想デバイスについては、ユーザーズガイドのVMware ESX4.0/ESXi4.0についての記載を参照してください。
- ・VMwareのディスク選択画面にて「Rawデバイスのマッピング」を指定して作成した仮想マシンには対応ていません。
既に「Rawデバイスのマッピング」を設定済みの仮想マシンについては、「設定の編集」にて「マップ済みのRaw LUN」と設定されているHDDを解除してから実行してください。

※3 仮想マシンを作成する際に以下のデバイスを指定してください。

- ・レガシ ネットワーク アダプター
- ・IDEコントローラー

- ※4 VMWare ESX3.0/3.5の不具合により、仮想マシンのネットワークアダプタタイプにE1000が使用されているとPXEブートに失敗する場合があります。
E1000が設定されている場合、動作自体は可能ですが、シナリオが完了しません。この問題はVMWare ESX 3.5 Update4で修正されています。
- ※5 VMWare ESX3.0/3.5の不具合により、仮想マシンのネットワークアダプタタイプにE1000が使用されているとPXEブートに失敗する場合があります。
E1000が設定されている場合は動作しません。この問題はVMWare ESX 3.5 Update4で修正されています。
- ※6 Red Hat Enterprise Linux のみサポートしています。
- ※7 Windows 2003(EM64T)の場合は、ディスク複製OSインストールはできません。
- ※8 仮想マシンに対し電源ON機能は動作しません。そのため電源OFF状態からのシナリオ実行はできません。
- ※9 仮想マシンに対して、「シナリオ実行条件」に「実行後に電源を切断する」を指定したシナリオを配信した場合、シナリオ実行後に電源を切断できません。
仮想マシンをネットワークブートを使用してDPMに自動登録した場合は、自動電源OFFできません。
以上の場合には手動で電源を切ってください。
- ※10 DPM5.1(REVISION:004)より対応しました。DPM5.1(REVISION:003)以前はOS情報のみ取得できます。
- ※11 DPM5.1(REVISION:004)より対応しました。
- ※12 仮想マシンを作成する際に以下のように設定してください。
・BIOSのスタートアップ順序で「レガシ ネットワーク アダプター」を一番上位に設定する
設定方法の詳細については、製品添付のユーザーズガイド等を参照してください。
- ※13 「DHCPサーバを設置しない」運用で仮想マシンの VMware ESX4.1/ESXi4.1 のバックアップ/リストアを行う場合、処理対象のディスクよりも CD/DVD ドライブが
先に認識されるため、1本目のバックアップ/リストア対象ディスクのディスク番号が2になります。
バックアップ/リストアシナリオ実行前にディスク構成チェックを行ってディスク番号の確認を行ってください。
- ※14 DPMでバックアップ/リストア可能な仮想ハードディスクの最大容量は127GBになります。

仮想基盤(ホスト)の対応状況(DPM5.1)

管理対象コンピュータの仮想基盤(ホスト)上での対応状況についてです。

○=対応済み。△=一部機能に対応済み。□=対応予定あり。(対応時期検討中。一部機能への対応予定も含む。) ×=未対応・対応予定なし。

仮想化ソフトウェア	VMware					Citrix XenServer		Hyper-V	
バージョン	ESX Server 2.5.1	ESX Server 3.01/3.02/3.5	ESXi 3.5	ESX 4.0/4.1※4	ESXi 4.0※4/4.1※4	Enterprise Edition 4.0/4.1	Enterprise Edition 5.0/5.5※4/ 5.6※4	1.0 (Windows Server 2008 R2)※4	2.0 (Windows Server 2008 R2)※4
機能内容	対応状況								
バックアップ・リストア	×	×	×	×	×	○	○	○※1	○※1
ディスク複製OSインストール		×	×	×	×	×	×	×	×
OSクリアインストール		×	×	×	×	×	×	×	×
アプリケーションのリモートインストール		○	×	○	×	○	○	○	○
パッチ/サービスパック配信		○	×	○	×	○	○	○	○
BIOS/FWアップデート		○	○	○	○	○	○	○	○
電源ON		○	○	○	○	○	○	○	○
電源OFF		○	×	○	×	○	○	○	○
シャットダウン		○	×	○	×	○	○	○	○
電源ON/OFFの状態確認		○	○※2	○	○※2	○	○	○	○
OS/パッチなどの情報取得	○※3	×	○※3	×	○※3	○※3	○※3	○	○

※1 DPMがバックアップリストアを行うLANに仮想スイッチを設定しないでください。仮想スイッチのMACアドレスは別サーバにリストアした際にも引き継がれるため、故障などによりサーバを交換した場合も故障前のサーバのMACアドレスが使用されリモートからの電源ONが出来ないなどの状況が発生します。

※2 DPMに、登録されているコンピュータ名で名前解決されている必要があります。

※3 DPM5.1(REVISION:004)より対応しました。DPM5.1(REVISION:003)以前はOS情報のみ取得できます。

※4 DPM5.1(REVISION:004)で対応しています。